

社長の決意・信条

見えるから決められるのではなく、
決めるから見えるのだ。

人間は常に決断の連続である。
一つの決断が出来ないのは、
もっと次元の高い決意が出来ていないからだ。

どういう生き方がしたいのかが決まれば、
自ずと決断が出来、
先が見えてくる。

これぞ「日本男子」という生き方がしたい。

日本人としてどう生きるのか。
上に立つ者としてどう生きるのか。
・・・私の永遠のテーマです。
高き志を持って生きて行きたい。

株式会社エモーションの経営目的

「社業を通じて、全ての社員の人間性と可能性を引き出し、
思想と経済のバランスの取れた会社を築きながら、
社員一人一人が一流（全てに行き届いていること）を
目指すことにより、個人の人格の完成に努力し、
日本の零細企業の雛型を目指すことで、
自分の生き様を通して、縁ある人に勇気と感動を
与える為のキッカケを与え続ける人生を歩むこと。」

これが私の志である。

そしてこの志こそが経営理念の源泉でもある。
人生は「出会い」であり、そして「可能性」である。
己れの良心と天に向かって恥じない生き方をしたい。
自分が納得のゆく人生を歩みたい。

山奥に咲く山桜のように、人が見ていようが見ていまいが、
自分の真心を、役割を、果たし切りたい。
・・・・・・・・これが私の信条である。

経営理念

(何の為に経営をするのかを一言で表した言葉)

「志高く、らしく生きる」

人は誰も、自分らしく生きたい。生き切りたい、と思っていると思うのです。

自分らしく生きたくないという人は、いないでしょう。

「自分らしく生きようや」という投げ掛けに、嫌だと言う人はいないでしょう。

では、自分らしく生きる為には「自分らしい」とは、
どういうことなのか？

それは、自分らしいとは？ということをお問自答してゆく心の習慣を身に付けてゆくことで、自分勝手な生き方には陥らなくなるものです。

「自分らしく」と「自分勝手」は全く異なるものです。

ここを勘違いしてはいけません。

社員全員が自分らしく生きれて、その集合体が「エモーショナルらしい生き方」であれば、こんな幸福な職場環境は無いんじゃないでしょうか。

そして、その「らしい生き方」が少しでも、志の高いものでありたいと思います。

だから「志高く、らしく生きる」ということは、永遠の人生テーマでもあります。

野心とは、自分の希望することが、自分だけの為の幸福感になるものを言います。

志とは、自分の希望することが、同時に周囲の人達の幸福感にもつながっているものを言います。

そして「志」とは、将来成し遂げようとする仕事を決意する精神のことを言い、どうすればみんなが幸福になれるかを求め続ける心とも言えます。

その志が世のため、人のために役立てる高きものでありたいと思います。

「自分の今思っている事、しようとしている事は志が高い事なのか！」ということを常に自分に問うてゆく、もう一人の自分を持つこと。

そんな謙虚さと反省心を仕事を通じて習慣化して行きたいものです。

利害も感情も大切ですが、それを超えた高い志で結び付いた人達が集まった会社でありたいと思います。

志を高く持って何事も取り組んで行くことが、経営理念である「志高く、らしく生きる」ことに繋がって行くのです。

「らしく」とは、全体の中の自分の位置を客観的に認識し、「時」と「処」と「立場」に相応しい判断と行動が出来ている状態を言います。

自分勝手に行動することが「らしく」ではありません。

「時と処と立場」に相応しい行動と自己の役割に対する自覚を「らしく」と言うのです。これが中々難しいんです。

永遠の課題ですね。

人間らしく生きるとは、自分らしく生きるとは、
どういうことなのか。

親に対して子供らしく、子供に対して親らしく、
夫に対して妻らしく、妻に対して夫らしく、

上司に対して部下らしく、部下に対して上司らしく、
男らしくとは、女らしくとは、

あらゆる場合に於いて「らしく」立ち居振舞いが出来る人間に成りたい。そんな人の集まった会社でありたいと思います。

「らしく」とは、誰かが決めつけるものでは決してありません。
自分が、自問自答して行く中で「自覚」するものなのです。

もう一度言います。

「自覚のある役割分担」を「らしく」と言うのです。

人はその人に相応しい「何か」を成し遂げる為に生まれて来ていると思います。

社会人として仕事を通じて、自分の生まれて来た意義役割を自覚出来、精一杯その役割を果たし切っていくことが魂の成長に繋がるものと思います。

そしてそれこそが、人間が本来生まれて来た意味ではないでしょうか。

人生ドラマをその人に相応しい「らしく」演じ切るために、職場という舞台を天から与えられているように思えてなりません。

何の為に経営をするのか。それは会社という舞台の上で各々の仕事を通じて、人間らしく、自分らしく、あらゆる場合場面に

「志高く、らしく」立ち居振舞いの出来る人間に成れるよう努力することで、世のため人のために「エモーションらしく」お役に立つ為です。世の中は、役割分担で成り立っています。

国家に於いても企業に於いてもしかり、

今、各々が各々らしくないから世の中が乱れているのです。

「志高く、らしく生きる」とはどういうことなのかを探求し、行動して行くことをエモーションが「経営」という行為を通じて世の中に感化して行けるならば本望です。

小なりといえども、志の高い集団で仕事をして行こうではありませんか。

株式会社エモーション 代表取締役 香川湧慈